

ペンギンではなく人間だから...

教頭 齋藤 久美子

冷たく、乾燥した日が続きます。その中、本校、宮沢用務主事の冬枯れの木々の”枝落とし”が続いています。過日、出張に赴く道すがら、その宮沢主事の落とした枝の先に”小さな固い茶色のふくらみ”を見つけました。凍える季節の間にも、自然は揺るぎなく”春”を準備しています。自然の営みの確かさに、励まされる2月です。

さて、学校も、今、春に向け、準備を進めています。

子ども達は、自信と希望を抱いて進学・進級すべく1年の総まとめに…。職員は、今年度の成果と課題を検討しつつ、次年度の計画づくりに…。

ところで、そうしたこの時期、私はいつも、「人間とペンギンは、どこが違うのだろうか?!」と考えます。1年の総決算期を迎え、成果とともに様々な課題も噴出し、会して議せず、議して決せず…の状態も間々あるからです。

「仲良きことは美しきかな」といいます。

私達がよく目にする氷や岩の上で群れるペンギンは、愛らしく、調和的で、心和みます。私達人間も、一面、様々に様々な人と関わり合いながら、群れをなして生活しています。時に、ペンギンのように愛らしく、群れ合います。しかし、それだけではすまない。なぜだろう？

そして、私はいつも、人間とペンギンの決定的な差異に思っていたのです。それは、生きる上で課せられた役割行動、そこで取り結ばれる「関係」の多様さ・複雑さ、鍛えの場の違いです。

ペンギンは、極めてシンプルです。せいぜい親子の関係の役割しかなく、それさへも親離れ・子離れまでの非常に短い期間にすぎません。そして、そこに、種の存続を賭けた掟の厳しさ、試練・鍛えの場があり、基本的には、単体として生きていきます。

これに比べ、人間は、家庭・職場(子ども達にとっては学校)・地域…等で多様な役割を持ち、それぞれに「関係」を取り結び、生きていかななくてはなりません。単体として存在する一方で、具体的な生活場面では、大人も子どもも、単体で生きていくことは出来ません。また、試練・鍛えの場となるのはそれぞれが役割を遂行する上で取り結ぶ「関係」の中で、です。その「関係の質」が、人間の成長を左右します。そして、その関係の在り方は、馴れ合い、持たれ合い、否定的な気分で結ばれた揺るぎやすい関係から、ノー・ダメージの構えで相互に向上し合おうとする、切磋琢磨の気風に満ち満ちた、夢の共有で結ばれた関係まで、多様です。

人間の場合、どのような「関係」をつくっていくかが、自分の力を伸ばす上からは重要です。

ペンギンではなく人間だからこその課題…、これに立ち向かうには、自分の回りの様々な「関係の質」を“癒し・慰め合い系”のみではなく、相互に高まり合うものに変えていく必要があります。

自然の揺るぎない営みに励まされつつ、人間としての揺るぎない歩みをめざし、皆様、今一度、ご自分の回りの「関係」を振り返ってみませんか？

2月の予定

- 3日(月)委員会
- 6日(木)道徳授業地区公開講座(5校時)と講演会 2:45~
- 7日(金)中学生、職場体験で来校(2時間目から5時間目)
- 10日(月)クラブ(見学)
- 11日(火)建国記念の日
- 12日(水)避難訓練
- 13日(木)校長と語る会 7:00~8:30 野崎公会堂
- 17日(木)クラブ(見学)
- 18日(火)世界の人々と過ごそう集会(3)
- 19日(水)児童集会
サポートスタッフ懇親会 4:00~5:00 後日、お知らせ配布
- 24日(月)クラブ(発表会)
- 26日(水)音楽集会 学校保健委員会
- 28日(金)6年生を送る会・お別れ給食会

道徳性が個性になるように

本校では来る2月6日(木)、「道徳授業地区公開講座」を行います。

21世紀は、人類史上かつて経験したことのない人間性の危機に直面するであろうと思われます。科学の進歩は、とどまることを知らず、神の領域といわれたことがらも次々と解明し、人間存在そのものをコントロールしかねない状態が予想されるからです。

そのような社会にあって、人間らしく生きていくには、人間らしい感性や理性を育みながら、人間らしい心のおもとである道徳的価値の自覚を深めていく心の教育が大切であると思います。

道徳性を養う活動は、学校における教育活動すべてにおいて行われていますが、道徳の時間は道徳的な価値に気付く、その意味や大切さについて考えを深める時間として実施しています。

その気付きや考えの深まりが、口や行いに出てこなくては何もならないと思います。良心の命ずるままに行動できるようにならなくてはならないと思います。

私のクラスで、こんな会話を耳にしました。はきはきとしてそつがないH子さん「うちのおばちゃん死んじゃってもういないんだよ。」 わんぱくなY君「死んだなんていうもんじゃないんだよ。亡くなったっていうんだよ。」 H子さん「分かった、去年亡くなったんだ。」

たわいのない会話ですが、私の心をホットにしてくれたのはなぜでしょう。Y君の温かみとH子さんの素直さが心に響いたのではないかと思います。

道徳性が個性となっていくためには、周りの大人たち、とりわけ毎日の生活での親(保護者)の姿こそが子どもに最も影響力を持つのではないかと思います。「子は親の鏡」子どもは親を手本にして育ちます。日々の生活の中で子どもたちは、親の言動をじっと見つめています。

親は誰でもみな子どもを愛している。やさしくありたい、誠実でありたい、公平でありたいと強く願っていると思います。

子どもをわざと傷つけようとする親などいるはずがありません。それでも、時にはそうしてしまうのです。親は知らず知らずのうちに、ある時は自分の弱さから、ある時は自分を守るために、子どもを傷つけてしまうことがあるのです。親は、子どもにとって完璧な手本になることはないと思います。感情的になってしまったら、それを認め、子どもに真心を持って謝ることができればよいと思います。子どもは、そんな親の姿から大切なことを学んでいくと思います。

授業参観では、子どもたちの良い所をたくさん見つけて褒めてあげてください。そして、授業のねらいにかかわる親の体験談を語って聞かせていただきたいと思います。その話は子どもの心の財産として蓄えられていくことでしょう。

(道徳担当)

クラブについて

子ども達が楽しみにしているクラブ活動も、残すところあと3回となりました。そのうち最終回(24日)は、クラブ発表会ですので、実際の活動は2回だけとなりました。

クラブ活動は、週に一回、自分の好きなことを楽しめる時間です。今年は、球技、陸上・スポーツ、バドミントン・ソフトバレー、卓球、パソコン、科学、料理・手芸、マンガ・イラスト、音楽、囲碁・将棋・オセロ、演劇の11のクラブに分かれて活動してきました。

クラブの時間は、4・5・6年の3学年の子ども達がいっしょになって、教え合ったり、助け合ったりしながら、活動してきました。下級生は上級生の技に見とれたり、上級生は自分の経験からアドバイスをしてあげたり、どこのクラブも和気あいあいと活動しています。また、部長を中心に、時間が来ると、進んで準備が始まり、練習や作業が進められていきます。子ども達は生き生きと活動しています。

3年生は4月からクラブに仲間入りします。きっとわくわくして、心待ちにしていることでしょう。そこで10日と17日はクラブ活動の時間に3年生が見学にやってきます。「どこにはいろいろかな?」「クラブって、どんなことをしているのかな?」と思いながら見てまわります。

4、5年生も「4月からのクラブはどうしようかな?」「続けようかな?」「違うクラブに入ってみようかな?」と考える時期となりました。そこで24日のクラブの時間とその前後の数日間はクラブ発表の週となります。例年、「作品展示」、「体育館での発表」、「ビデオ発表」の3つの方法で発表しあっています。その後、入部の希望をとり、調整をし、4月を迎えることとなります。

この1年間、クラブ活動の時間がお子さんにとって満足できるものだったでしょうか。ご家庭で話題にのぼるとうれしいのですが……。

最後に、クラブの時間にサポートスタッフとして、お手伝い下さった方々へ御礼申し上げます。どうぞ、来年度もよろしくお願ひいたします。

(クラブ担当)

6年生を送る会・お別れ給食会があります。

この一年間、二小の最上級生として様々な活動を支えてきた6年生、88名がいよいよ卒業します。そこで、在校生みんなで6年生への感謝の気持ちと新しいスタートを応援する気持ちを込めて「6年生を送る会」「お別れ給食会」を開きます。

4年・5年代表委員と各委員会の5年生の代表が実行委員となって計画・準備し当日の進行をします。また、送る会の会場となる体育館のギャラリーには各学年が心を込めて作成した装飾紙が飾られます。この飾りは卒業当日もご覧いただけますのでご期待下さい。

あとわずかです。二小を卒業していく6年生。みんなの心に温かい思い出が残る2月28日になることでしょう。

プログラム「6年生を送る会」

6年生が一年生と手をつないで入場 ひな壇に6年生が並びます。

始めの言葉

校長先生のお話

各学年の出し物

委員会の引継ぎ(6年委員長から5年副委員長へ)

6年生の出し物

終わりの言葉

6年生退場

「お別れ給食会」

6年生が1年1組から5年3組に分かれて一緒に給食を食べながら

(特別活動部)

サポートスタッフ通信

「三鷹二小Mジョイ吹奏楽団」の新年は、1月15日の「ニューイヤーコンサート」ではじまりました。二小の体育館で「インザムード」、「ブラジル」、「ガーシュインクラシックス」等の演奏と、サポートスタッフの「イパネマの娘」等の演奏で和やかなムードで行われました。

保護者の会の運営になってから1年未満。ここまでたどり着いたのは、保護者の会やサポートスタッフの方々、そして、なによりも団員一人一人がここまで頑張ったからでしょう。保護者の会では団の運営に関わること、サポートスタッフは団員一人一人の音楽的なセンスを磨くために活動してくださっています。

Mジョイとして来年度も引き続き活動していきますが、今後もよろしくおねがいたします。

(三鷹二小Mジョイ吹奏楽団担当)

生活指導担当より

2月の生活指導

「じょうぶな体をつくろう」

寒い日が続く、体調を崩している子も見られます。他校では、インフルエンザによる学級閉鎖になるクラスもでてきています。

子ども達一人ひとりが丈夫な体を作り、かぜやインフルエンザなどで学校を休むことなく、冬を乗り切れるようにしたいものです。

そこで、子どもたちには、日頃から運動して体を鍛えることとともに、次の点を、ご家庭でもお子さんにご注意ください。

外から帰ったら、うがい手洗いを必ずする。

栄養のある食事をする。

睡眠を十分にとる。

人ごみになるべく行かない。

また、もしインフルエンザなどの兆候が見られましたら、早めに受診して、体を休めるようにすることが大切です。(インフルエンザは、欠席にはならず出席停止扱いになりますので、もしインフルエンザと診断された場合は、担任までお知らせください。)

お子さんが充実した3学期を過ごせるようご家庭での健康管理をよろしくお願いします。

(生活指導担当)

新1年生保護者会のご案内・・・

日時：2月4日(火) 午後2時～3時30分 於：視聴覚室

内容：

1. 学校長の話
 2. 入学までの諸準備
 3. 入学期の子供の健康管理
 4. 入学式当日の日程等の説明
 5. イントラについて
 6. 教育相談について...等
- 新1年生の保護者の皆様、当日はぜひご出席下さい。よろしく申し上げます。

(入学担当)

図書館オープン!

1月29日、待ちに待った図書館の開館式が行われました。今では中休みも昼休みも、文字どおり子どもで溢れかえっています。

以前と大きく変わった点は、まず、じゅうたん敷きであること。読み聞かせコーナーができたこと。蔵書が増え、分かりやすい分類に整えられたこと。また、将来バーコードを利用した貸出方式になること・・・まだまだたくさんありますが、それは、学校に来られた時に確かめていただければと思います。明るく暖かな雰囲気図書館に、驚かれるのではないのでしょうか。ご来校の節には、ぜひお立ち寄りください。

来年度からはこの学校図書館を、土曜日に地域開放することが予定されています。どうぞ、楽しみにお待ちください。

(図書館担当)